広報しまだ

Shimada

2014
3
vol.189

目次 —— CONTENTS ——

2 特集：消防救急広域化

6 子どもたちに輝く明日を：子ども・子育て支援新制度

8 市政あらかると

10 まちの話だい

12 しまだ情報：こども医療費助成に関わるお知らせ／市内一斉川ざらい／古布類の新規回収／男女共同参画行動計画策定 など

18 第 36 回 金谷茶まつり

19 文化課通信

20 友好のかけはし

21 図書館だより

22 スポーツ INFO

23 くらしのシグナル

24 けんこうナビ（4 月）

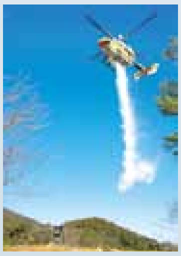
28 便利帳／彩りもう一品

30 掲示板／みんなのひろば

32 しまだ人：鈴木一枝さん・鈴木千鶴枝さん

表紙 —— COVER STORY ——

市消防団と消防本部が、県防災ヘリと連携した合同訓練を行い、山林火災などへの備えを学びました。



より早く、より高度に、より効果的に…そして、より強く！

静岡地域の消防救急広域化

島田市は現在、静岡市・牧之原市・吉田町・川根本町との静岡地域3市2町による、平成28年4月の消防救急広域化を目指しています。3市2町が運営する「静岡地域消防救急広域化運営協議会」において、広域化後の消防救急の円滑な運営を確保するため「静岡地域広域消防運営計画」を昨年11月に策定。今後も引き続き、広域化に向けた準備作業を進めていきます。

問島田市消防本部 ☎37-7172

【消防本部の概要】平成25年4月1日現在（職員数は条例定数）

消防本部名	構成市町	管轄人口	管轄面積	職員数
島田市消防本部	島田市	101,693人	315.88㎢	150人
	川根本町	7,967人	496.72㎢	
静岡市消防局	静岡市	719,188人	1,411.93㎢	778人
吉田町牧之原市広域施設組合消防本部	吉田町	29,316人	20.84㎢	64人
	牧之原市（旧榛原町）	24,553人	53.36㎢	
牧之原市相良消防本部	牧之原市（旧相良町）	24,502人	58.32㎢	54人

the
fire
disc
am

より強く

出動要請の増加や市民ニーズの多様化など、消防行政を取り巻く環境は大きく変化しています。一方、島田市消防本部のような管轄人口が30万人未満の小規模消防本部は、出動体制・特殊車両数・専門要員の確保などに限界があることや、財政運営面での厳しさが指摘されています。

これらを克服し、市民の皆さんが安全・安心に暮らすことができる「災害に強い」消防救急体制を実現する上で、静岡地域3市2町の広域化は、最も有効な手段だといえます。

また、広域化によって強化されるのは、ハード面だけではありません。大規模消防本部との協働は、知識・技術・経験値・指導力など、職員の資質を向上させます。将来起こりうる大規模災害に対処できる「強い組織」の育成は、広域化が市民の未来に果たす、もうひとつの役割でもあります。

Voice
島田市消防本部
櫻井道雄（さくらいみちお） 消防長

平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度

新消防体制開始（4月）
【管轄人口】 約91万人
【署所数】 32カ所
【職員数】 約1,000人

← 【移行準備】
- ◉職員研修の実施
- ◉事務事業のすり合わせ
- ◉例規の整備／合同訓練の実施 住民周知／事務委託締結など

← 【広域消防運営計画】の策定
- ◉「広域消防運営計画」策定 移行準備の体制整備

- ◎「静岡県消防救急広域化推進計画」（静岡県） H20.3策定／H22.6変更
- ◎「中部圏域消防救急広域化連絡会議」関係首長による広域化の枠組み・方式・時期（H22.3決定）

Voice
静岡地域消防救急広域化運営協議会
赤堀文宣（あかほりふみのぶ） 事務局長

より早く――

消防救急の広域化により、これまでの「管轄区域」に関わる不安が解消されます。例えば、災害現場が管轄区域の境界付近でも、市内外を問わず最も近い消防署所から、消防車両が出動することができます。これにより、災害現場への到着時間の短縮が期待できます。

　また、事務手続きの簡素化も、広域化のメリットです。特に、ヘリコプターを持たない自治体は、県防災ヘリの出動要請が必要ですが、消防ヘリ「カワセミ」があれば、独自の判断で迅速に出動させることができます。

　管轄区域が3市2町となっても、私たちの願いは同じ「住民サービスの向上」です。皆さんが広域化の恩恵を感じられるよう、全職員が一丸となって、管轄区域の「壁」を壊す作業を進めています。

大切な命を これからも 守るために

より高度に――

消防救急活動においては、初期の段階でいかに迅速に多くの人員や適切な特殊機材を投入して活動できるかが、被害の軽減に非常に大きく影響します。

　しかし、川根本町の90％以上は森林です。その広大な山間地で大規模な火災や事故があれば、島田市からの部隊や静岡県からの防災ヘリの到着を待つ必要があります。加えて、町民の高齢化率が高いことから、救急搬送の件数も増加の一途をたどっています。

　初動体制で、島田市からに加えて静岡市からも「高規格の消防救急が来てくれる」こととなる広域化は、町民の安心に直結します。また当町では、職員の多くが業務を兼務しており、大災害時の役場機能の混乱も予想されます。広域化による「防災力」の強化には、職員としても期待しています。

Voice
川根本町 総務課
地域支援室（広域消防担当）
坂下誠（さかしたまこと） 室長

Voice
島田市消防本部
消防総務課 広域消防係
田代信行（たしろのぶゆき） 課長補佐

より効率的に――

近年の人口と税収の減少は、防災力の低下を招きかねません。消防救急の広域化のスケールメリットは、将来の防災力を維持することでもあるのです。

　現状では、各消防本部に指令装置や特殊車両などを設置・保有していますが、広域化により重複投資を回避することが可能になります。また、新たに整備する必要がある施設や資機材などの投資負担額の縮減が可能となるほか、より高度な資機材や専門部隊などを整備・配備することができます。

　そして広域化は、職員の心の中にも変化をもたらします。「命を助けたい」と志を同じくする仲間が、現在の約150人から約1000人に増えることは、常に危険と隣り合わせの現場に従事する者にとって、とても心強いスケールメリットでもあるのです。

広域化後も変わらない「利便性」

▼消防救急の広域化は、消防体制の整備および充実を図るために行うものです。広域化によって消防本部の対応力が低下することはありません。

１１９番通報の仕方は変わりません

現在、島田市および川根本町内で１１９番通報すると、島田市消防本部の「通信指令室」で受信しています。広域化後は、静岡市消防局の「指令センター」で受信することになります。これにより、災害情報などの広域的な一元管理が可能になり、消防隊や救急隊などが迅速かつ効率的に現場へ出動できます。

消防署所や職員の数は変わりません

消防救急の広域化は、消防体制の充実強化を図るために行うものであり、消防署所の配置などは、現体制を維持します。また、適正な人員配置により、消防力の充実に努めていきます。

消防団員の活動範囲は変わりません

消防団は、広域化の対象外です。これまでどおり、島田市の消防団として、地域で活動していただきます。

事務委託方式で広域化を目指します

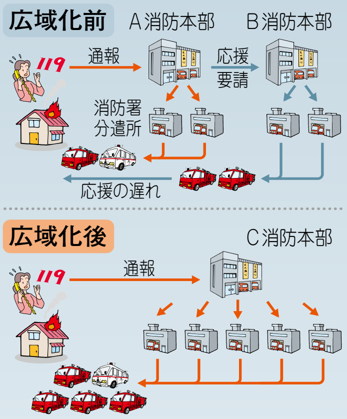
静岡地域消防救急広域化は、島田市・牧之原市・吉田町・川根本町が、静岡市に対して消防事務を委託する「事務委託」の方式をとります。

広域化による「メリット」

▼広域化には、既存の消防救急の資源を生かしながら、消防活動の高度化や救急需要の増大などの課題解決を図るための、多くのメリットがあります。

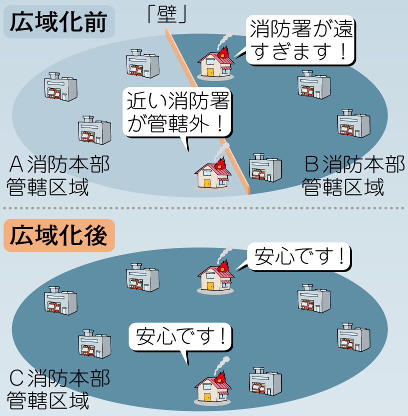
消防活動の体制強化

大規模な火災に対しても、必要な規模の出動を、迅速に行えます。



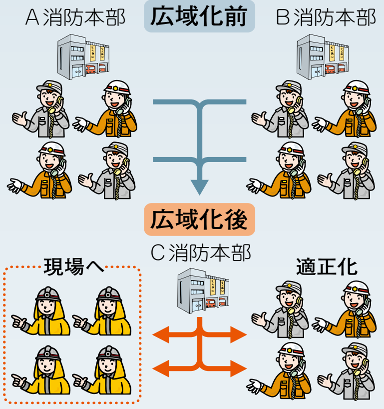
消防署所の配置や管轄区域の適正化

管轄区域の「壁」が無くなることで、到着時間が短縮され、バランスの取れた署所の配置となります。



現場で活動する隊員の増強

事務や指令に就いていた消防職員を、隊員として配備できます。



専門性の向上

救急救命士や予防技術資格者などの専門的な人材を、育成・確保できます。

消防設備・基盤の強化

はしご車や救助工作車などの高度な車両や、安全で効果的な新しい機材の導入、高機能の指令システムなどを整備できます。

静岡市消防ヘリコプター「カワセミ」

組織の活性化、職員の能力向上

人事ローテーションの設定が容易となるほか、職員に対して高度な研修を受講させることが可能になります。

静岡地域の消防救急広域化に関する問い合わせ先

静岡地域消防救急広域化運営協議会事務局（静岡市消防局内）
☎ 054-255-0125　FAX 054-255-9748
✉ shizu-kouiki@bz03.plala.or.jp

島田市消防本部 消防総務課 広域消防係（島田消防署内）
☎ 37-7172　FAX 33-0157
✉ shimada-fd-soumu@lagoon.ocn.ne.jp

静岡地域消防救急　検索

http://www.city.shizuoka.jp/deps/shobokouikika/index.html